

平成 29 年度 国語科

教科	国語	科目	古典B	単位数	3単位	年次	2年次
使用教科書	精選「古典B」 (三省堂)						
副教材等	カラー版新国語便覧 (第一学習社)、古典文法ノート (尚文出版)、古文単語301 (尚文出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・優れた古文・漢文に親しみ、その時代に生きた人々の考え方や感じ方に触れ、今を生きる自分自身との関係を考える。
- ・様々なジャンルの古文を正確に読むために必須の重要古語・古典文法・古典常識等を身につける。そのために、古語辞典を活用し、宿題に取り組み、予習の大切さが分かるようにする。
- ・日本にも大きな影響を与えた漢文にも慣れ、日本語の底流を作る漢文脈や中国思想を知る。

2 学習の到達目標

- ・1年生の古典の学習に続き、様々なジャンルの教材に取り組み、古典の内容を的確にとらえ、理解する力をつける。
- ・1年で扱った古典文法の助動詞の続きから入り、助動詞全体の仕上げをする。
- ・敬語を取り上げ、敬語の働きを通して、人物関係をとらえ、現代語訳を出来るようにする。
- ・助動詞・敬語という日本語特有の表現を通して、国語についての認識を深め、言語感覚を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解
観 点 の 趣 旨	古典に関心を持てるように、古くても現代に通じる価値を見つけられるようにし、学習への意欲的な態度を引き出せるようにする。	辞典を活用し、自身でつけた現代語訳を授業で確認しながら、文法的理解や文の構成・展開等を踏まえて正確に理解できるようにする。	古典文法、古典常識、重要古語等を理解し、理解した知識を使って、文脈に即して、自身の力での正確な理解につなげられるようにする。
評 価 方 法	授業時の言動の観察 授業のノート、宿題の内容、ワークの内容の点検	授業時の言動、特に授業時の質問に対する回答内容、ノートの点検、定期考査の出来具合	授業時の言動、授業以前の予習プリントの内容、小テスト、定期考査の出来具合

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	説話	教材『十訓抄』『博雅の三位と鬼の笛』 『宇治拾遺物語』『小野篁、広才のこと』	○	◎	◎	a:自分で作った現代語訳を通して、説話の面白さを味わう。 b:古語辞典を使って語句を調べ、自分で現代語訳を作る能動的な取り組みをする。 c:「ぬ」の識別を通して、文法的な把握の重要性に気づく。	a:授業での取り組み、予習プリント b:定期考査、授業中の発言、ノート c:文法小テスト、助動詞の練習プリント、ノート
	小話	『世説新語』『漱石枕流』 『蒙求』『紀昌貫虱』	◎	○	◎	a:句法に注意しながら、書き下し文に直すことを通して、漢文に親しむ。 b:正確に現代語訳することを通して、内容をとらえる。 c:故事成語となった現在での意味を確認する。	a:授業での取り組み、予習プリント b:定期考査、授業中の発言、ノート c:句法整理プリント、小テスト、ノート
	随筆	『枕草子』『春はあけぼの』 「中納言参り給ひて」「雪のいと高う降りたるを」	○	◎	◎	a:中学校で扱った随筆の冒頭部分を思い出しながら、新しい意味合いにも触れる。 b:敬語の基本的な理解を読みにもつなげる。 c:敬語の基本的な理解を深める。	a:授業での取り組み、予習プリント b:定期考査、授業中の発言、ノート c:敬語練習プリント、小テスト
2学期	日記	『更級日記』『あこがれ』 『源氏物語』『光源氏の誕生』	○	◎	◎	a:日記文学に触れ、能動的に理解しようとする。 b:敬語を含んだ表現に慣れ、読む力をつけ、正確に現代語に直せるようにする。 c:敬語の知識を内容の理解につなげる。	a:授業での取り組み、予習プリント b:宿題考査、定期考査、授業中の発言、ノート c:敬語練習プリント 小テスト

	歴史物語	『大鏡』花山院の出家	◎	○	◎	a: 歴史物語に触れ、平安時代の歴史の真実を把握する。 b: 助動詞・重要古語の知識を使いながら、古文を正確に読めるようにする。 c: 敬語の基本を整理し、人物関係を明確につかむ。	a : 授業中での取り組み、予習プリント b : 定期考査、授業中の発言、ノート c : 助動詞練習プリント、小テスト、ノート
3学期	物語	『源氏物語』「北山の垣間見」	◎	○	○	a : 名場面でもある重要な場面を味わう意欲を引き出す。 b : 敬語表現を意識して、動作の主語を確定し、正確に読み取れるようにする。 c : 敬語の基本を整理し、人物関係を理解し、場面を把握する。	a : 授業中での取り組み、予習プリント b : 定期考査、ノート、宿題考査 c : 敬語練習プリント、ノート
	文章	「桃花源記」	◎	○	○	a : 描かれたユートピアに関心を持つ。 b : 書き下し文にすることを通して内容が読み取れるようにする。 c : 否定形・疑問形を中心に意味が正確にとれるようにする。	a : 授業中での取り組み、予習 b : 定期考査 ノート c : 句形のまとめプリント

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度      b: 読む能力  
c: 知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。